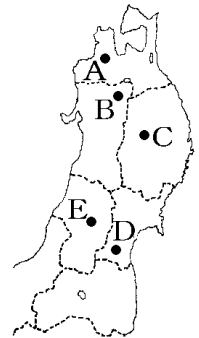


第 16 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.03
	東北地方			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

- (1) ①南部鉄器、②津軽塗が作られている場所を右の地図中の A～E から選び記号で答えよ。
- (2) 伝統産業はなぜ北陸地方や東北地方で発達したか。「冬」「雪」という言葉を使って説明せよ。
- (3) 伝統的工芸品の現在の課題をまとめた、次の文中の()にあてはまる語句をそれぞれ書け。
 - ・大量生産の安い製品や、海外からの(①)の増加で、生産が停滞している。
 - ・職人の(②)が進み、後継者が不足している。



[解答欄]

(1)①C	②A
(2) 雪に閉ざされた冬の期間の副業として発達した。	
(3)①輸入品	②高齢化

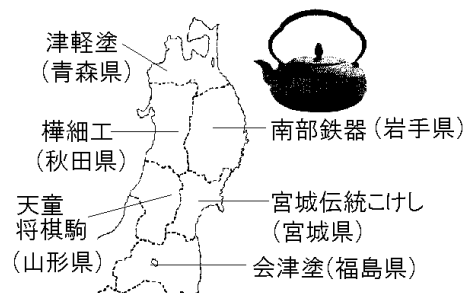
[解説]

[伝統産業]

伝統工芸品: 南部鉄器(岩手県盛岡市)など

発達の理由: 雪に閉ざされた冬の副業

問題点: 輸入品の増加, 職人の高齢化



東北地方では、冬は雪におおわれるため農業を行うことができず、農業収入を得ることができなかった。そこで、冬の期間に家内で行う仕事として地元の森林資源や鉱産資源を利用しながら、こけしや家具、鉄器などのさまざまな伝統的工芸品がつくられてきた。すなわち、東北地方では、雪に閉ざされた冬の期間の副業として伝統産業が発達した。

具体的な伝統的工芸品としては、岩手県盛岡市の南部鉄器が有名。

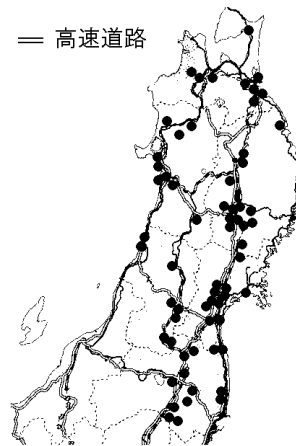
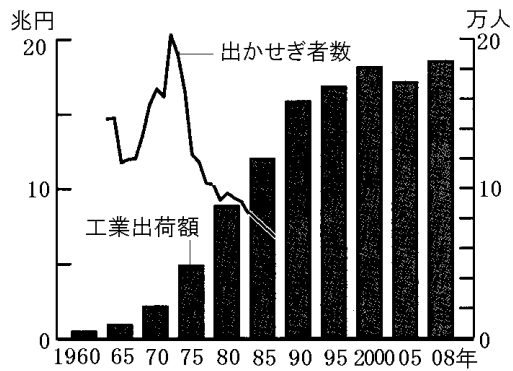
そのほか、青森県の津軽塗、秋田県の樺細工、山形県の天童将棋駒、宮城県の宮城伝統こけし、福島県の会津塗などがある。

しかし、大量生産による安い製品の普及や、海外からの輸入品の増加にともなって生産が停滞している場合がある。

また、職人の高齢化が進み、後継者不足という問題もある。

[問題 2]

次の地図とグラフを見て、あとの各問いに答えよ。

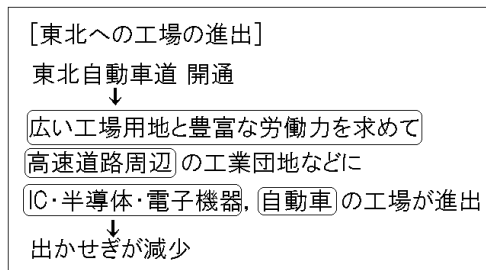


- (1) 地図中の●は、県や市町村が用地を造成して、工場を誘致したところである。これを何団地というか。
- (2) (1)は何の周辺に立地しているか。
- (3) グラフから、1970年代半ば以降、何が減少していることがわかるか。
- (4) 関東地方などから東北地方に、自動車や電気機械の工場が進出した理由を「用地」と「労働力」の語句を使用して説明せよ。

[解答欄]

(1) 工業団地	(2) 高速道路	(3) 出かせぎ者数
(4) 広い工場用地と豊富な労働力を得やすいから。		

[解説]



東北地方では、冬には積雪によって農業ができないため、かつては、関東地方などへ出かせぎに行く人が多かった。そこで東北地方の県や市町村では、地元の人々の働き場所として工業団地をつくり、そこに工場を誘致した。1970年代から1980年代にかけて、東北自動車道や東北新幹線などが開通すると、関東地方と短時間で行き来ができるようになった。

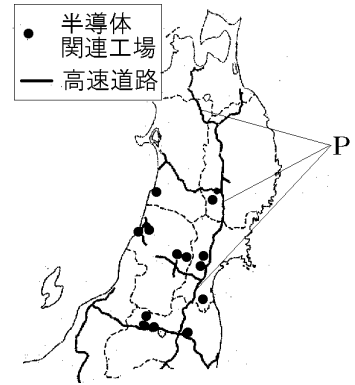
このことによって、IC(集積回路)や半導体、電子機器などをつくる工場が、広い用地と豊富な労働力を求めて、高速道路の周辺にある工業団地を中心に、進出してくるようになった。

1990年代以降には、近代的で規模が大きい自動車工場や、その部品をつくる工場も進出した。これにともなって、冬に出かせぎに行く人が少なくなっている。

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 東北地方と関東地方を結ぶ高速道路 P を何というか。
- (2) 右の地図から、半導体関連工場は主にどのような場所に進出していることがわかるか。
- (3) 近年、東北地方に進出している工場を次の[]から 1 つ選べ。
[薬品工場 自動車工場 食品工場]
- (4) 企業が東北地方に工場を進出させることの利点は何か。2 つあげて、簡潔に説明せよ。



[解答欄]

(1) 東北自動車道	(2) 高速道路の周辺	(3) 自動車工場
(4) 広い工場用地と豊富な労働力を得やすいこと。		

[解説]

半導体や IC や電子機器は値段の割に小さく軽いので、高速道路を使ったトラック輸送でも輸送費用の割合が小さくてすむ。

これに対し、鉄鋼やプラスチック(石油化学)では、原燃料(鉄鉱石、石炭、石油)と製品は、ともに値段の割に重いので、陸上輸送では費用がかかりすぎる。

鉄鋼業や石油化学工業は、原燃料の輸入と製品の輸送に便利な臨海部に立地している(京浜工業地帯、京葉工業地域、中京工業地帯、阪神工業地帯、瀬戸内工業地域などの臨海部)。

[問題 4]

東北地方について次の各問いに答えよ。

(1) 次の文を読んで、地図中の a～c で行われている伝統的な祭りの名前を[]から選べ。

a : 人形などの大きな灯籠をひいて、ねり歩く祭り。

b : 提灯を米俵に見立てて、米の豊作をいのる祭り。

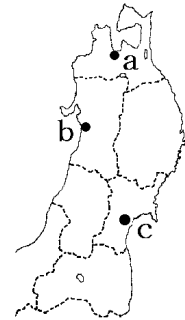
c : 笹のついた大きな竹を飾り、田の神を迎える祭り。

[仙台七夕まつり 青森ねぶた祭 秋田竿燈まつり]

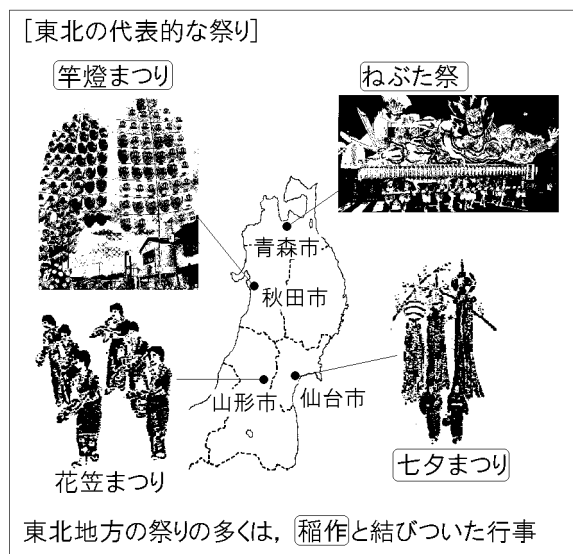
(2) b や c のまつりは、何と結びついた行事か。(1)の説明文から考えて書け。

[解答欄]

(1)a 青森ねぶた祭	b 秋田竿燈まつり	c 仙台七夕まつり
(2) 稲作		



[解説]



東北の三大祭りは、

①青森ねぶた祭(人形などの大きな灯籠をひいて、ねり歩く)、

②秋田竿燈まつり(提灯を米俵に見立てて、米の豊作を祈る)、

③仙台七夕まつり(笹のついた大きな竹を飾り、田の神を迎える)の3つである。

そのほかに山形花笠まつりなどがある。

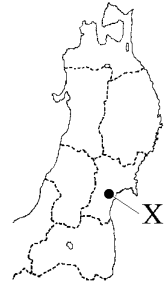
東北地方の祭りや年中行事の多くは、稲作と結びついた行事である。

また、青森のねぶた祭、秋田竿燈まつりは重要無形民俗文化財に指定されている。

[問題 5]

東北地方について次の各問いに答えよ。

- (1) 地図中の X の都市は、プロスポーツチームの本拠地が置かれているほか、来場者が 200 万人をこえる祭りも行われ、関東地方からもたくさんの観光客が訪れるようになった。その理由について、交通の面から簡単に書け。
- (2) X の都市は東北地方の地方中枢都市である。地方中枢都市を「中央官庁」「企業」という言葉を使って簡単に説明せよ。



[解答欄]

- (1) 新幹線の開通によって関東との時間距離が短くなったから。
- (2) 中央官庁の出先機関や大企業の支社などがおかれている、その地方の中心となっている都市。

[解説]

[仙台市]

地方中枢都市: 中央官庁の出先機関や大企業の支社などがおかれている

新幹線→仙台・東京の時間距離が短縮(2時間)

↓

多くの観光客

仙台市は、中央官庁の出先機関や大企業の支社などがおかれている地方中枢都市である。人口は 100 万人をこえ、「杜の都」とよばれるほど緑が豊かな都市である。

仙台市では、仙台七夕まつりが大切に守り育てられており、来場者が 200 万人をこえる大規模な祭りとなった。仙台市は東京と新幹線で 2 時間程度で結ばれているため、関東地方からも多くの観光客が訪れるようになっている。